

様式第2号（政務活動実施報告書）

令和5年 2月 11日

井原市議会議長
大滝文則様

井原市議会議員 宮地俊則

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	令和5年2月8日(水)～2月9日(木)
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	開催場所：東京都千代田区有楽町1丁目12-1 リファレンス新有楽町ビル2階
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	2月8日(水) 10:00～12:30 研修名：決算カード1 「収入の基礎徹底解説」 14:00～16:30 決算カード2 「支出の基礎徹底解説」 2月9日(木) 10:00～12:30 研修名：決算カード3 「財政収支の見方」 14:00～16:30 決算カード4 「財政指標の見方」
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	講師 2日間とも 森 裕之氏 (立命館大学教授)
5. 活動内容	別紙のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。
2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。



5. 活 動 内 容

- 決算カード1「収入の基礎徹底解説」
 - ・決算カードとは何か？見方を学ぼう
 - ・地方交付税と臨時財政対策債を決算カードで見てみる
 - ・令和5年度予算のポイントを最新解説
 - ・債務負担行為と一時借入金について把握の仕方

- 決算カード2「支出の基礎徹底解説」
 - ・支出の推移と構成比から未来を予測しよう
 - ・見えにくい公営企業等の財政を見る
 - ・各支出について自分の街の決算カードを見て確認
 - ・積立金と借金はコロナでどんな影響があったか
～質疑例を踏まえて解説～

- 決算カード3「財政収支の見方」
 - ・自治体財政の赤字問題と直近の財政課題
 - ・各自治体の財政収支の事例から財政危機の予兆を学ぶ
 - ・実は赤字？本当の収支を決算カードで確認
 - ・コロナを踏まえた財政収支の考え方

- 決算カード4「財政指標の見方」
 - ・財政力指数とは何か、正確に理解していますか？
 - ・自分の街の施設などの資産の老朽化比率
 - ・経常収支比率の基礎的理解と議会での質疑例
 - ・総務省のスタンスから考える今後の自治体財政

所感

この度のセミナーは、自治体財政を決算カードから読み解くというかなり専門的な講義であったと思います。

歳入では地方税、地方交付税、国庫支出金など構成の徹底解説から算出根拠を、歳出では性質別・目的別に分けられる意味合いなどの詳しい解説がありました。

留保財源の計算方法から臨時財政対策債のポイント、国庫支出金の課題や債務負担行為の注意点など予算編成や決算時のチェックポイントなど大変参考になりました。

特に、①実質単年度収支の赤字額が大きく、複数年度にわたって続いているか、②財政調整基金等の残高が減っていく傾向にないか、③一般財源が増えない一方で、人件費、扶助費、公債費などの義務的経費の負担が増加する傾向にないか、など本市の財政の健全性をチェックするため、決算カードの数字からそれらを見極める手法を詳しく解説していただき、早速今後の議会活動、議員活動において大いに参考になるものでありました。さらに有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率）などはこれまで扱ってこなかった分析方法も学ぶことができました。

総じて、有意義な研修であったと思いますし、今後さらに深掘りした次のステップをぜひ受講しなければと感じたセミナーでありました。